

補助事業番号 21-1-084

補助事業名 平成21年度 国際映画祭の開催補助事業

補助事業者名 財団法人 日本映像国際振興協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国際映画祭を開催し、国際文化交流の促進とわが国の映像文化の発展を図るとともに、日本映画の海外情報発信を通じて文化交流及び海外普及を促進し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①第22回東京国際映画祭の開催

国際映画製作者連盟公認のアジア最大の国際映画祭として、東京都港区六本木地区で平成21年10月17日(土)より10月25日(日)までの9日間開催した。東京国際映画祭は「コンペティション部門」「特別招待作品部門」「アジアの風部門」「日本映画・ある視点部門」の主要4部門で構成され、「特別招待作品部門」は映画祭開催以降公開される日本・海外の最新話題作をいち早く上映し、各作品のゲストを招いて映画祭を華やかに盛り上げ、観客との交流を深める部門である。また東京国際映画祭を広く一般に周知させ、映画祭として盛り上げる為に以下の広報活動を行った。

- ・ 広報媒体の活用
- ・ 予告編、作品の先付けフィルムの制作と劇場上映
- ・ 新聞広告の掲載、街頭広告の制作設置
- ・ プレスセンターの設営と運営

②海外への日本映画情報発信としてのホームページの運営

本財団では、平成15年より日本映画の海外情報発信を目的としてホームページを制作運営してきた。ページのアクセス数も高い水準を維持しており、ホームページ企画の内容は以下の通りである。

- ・ 当財団の活動情報の掲載
- ・ 日本映画の産業データ、作品データ、人物データ
- ・ 日本国内・海外映画産業関連のディレクトリー
(映画団体、製作会社、映画祭、映画学校、フィルムコミッション、映画製作支援の情報等)
- ・ 日本映画に関するニュースやマーケット情報

2. 予想される事業実施効果

東京国際映画祭を通じて育まれた才能は、我が国のみならず、世界のさまざまな国や地域において定着し、映画文化の継承と発展に貢献しており、その結果、東京国際映画祭の評価はますます高いものとなってきている。高い評価を受ける国際映画祭には質の高い作品が集まり、非常にレベルの高いコンペティションが

行われる事となる。その中で磨かれる幾多の若い才能がさらなる飛躍をとげて世界の映画界をリードしていくという好循環を生み出し、東京国際映画祭の一層の発展に寄与してくれるものと期待するものである。

3. 本事業により作成した印刷物等

ティーザーチラシ	160,000枚
公式チラシ	250,000枚
公式プログラム	8,000部
公式記録	5,000部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 日本映像国際振興協会
(ザ・インターナショナル・ニホンエイゾウコクサイシヨウキョウカイ)

住所： 104-0045
東京都中央区築地二丁目15番14号

代表者： 理事長 高井 英幸 (リジチョウ タカヒデユキ)

担当部署： 総括管理部 総務グループ (ソウカツカンリフ ソムグループ)

担当者名： 統括プロデューサー 川崎 浩 (カワサキ ヒロシ)

電話番号： 03-3524-1081

F A X : 03-3524-1087

E-mail: hiroshi.kawasaki@tiff-jp.net

U R L : <http://www.unijapan.org/>